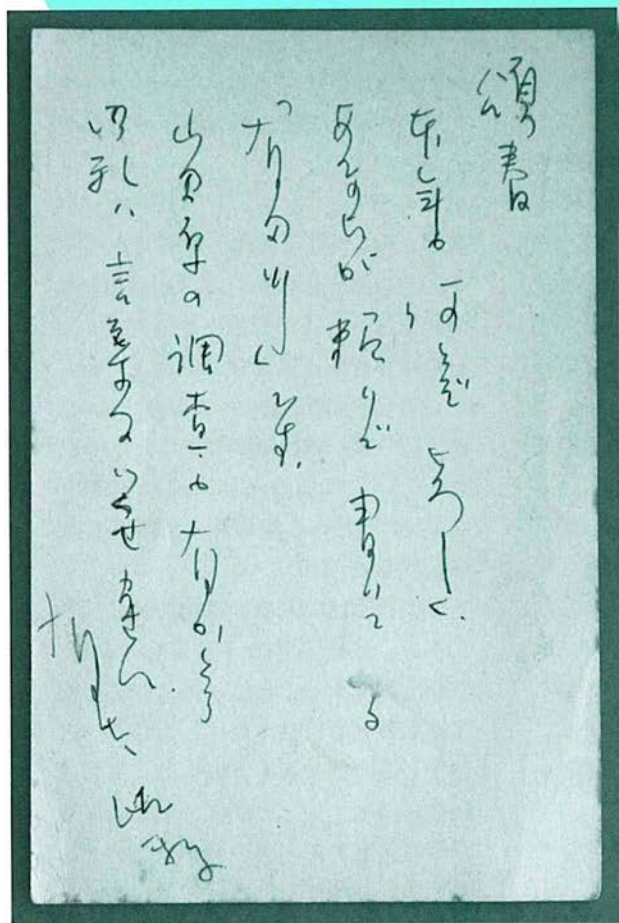


歴史書 通信

7

2016 No. 226



有吉佐和子 小説「有田川」の
創作背景 [寺西貞弘]

歴史書新刊ニュース (5・6月)

歴史書以外の人文社会図書
新刊案内 (5・6月)

2016年歴史書ベストフェア
出品/参加書店一覧

歴史書リバイバル2016年フェア
出品/参加書店一覧

歴史書懇話会

有吉佐和子 小説「有田川」の創作背景

寺西 貞弘

(有田市郷土資料館館長)

和歌山で、1枚の葉書(個人蔵)が発見された。女流作家として一世を風靡した有吉佐和子自筆の葉書である。消印によると昭和38年(1963)1月8日投函の年賀状で、「頌春 本年も何とぞよろしく。あなたが頼りで書いている「有田川」です。山田原の調査も有かとう、御礼ハ言葉につくせません。有吉佐和子」と書かれている。彼女が同年に発表した小説「有田川」の取材に関係して、彼女のかつての同級生である和歌山の女性に宛てた礼状を兼ねている。この葉書の存在によって、有吉作品の創作過程が、^{おぼろ}朧ではあるが明らかになってくるように思われる。

有吉佐和子は、女性の感性で小説を書いた。とくに、私が和歌山で暮らしている関係もあり、紀州を題材とした作品に個人的に興味を持っている。それらの作品では、紀州を舞台にして、主人公が作品の中で紀州弁を駆使している。今、その作品を発表順に列記すると次のようになる。

「紀ノ川」(『婦人画報』昭和34年1月～5月)

「助左衛門四代記」(『文学界』昭和

37年1月～同38年6月)

「有田川」(『日本』昭和38年1月～12月)

「日高川」(『週刊文春』昭和40年1月～11月)

「華岡青洲の妻」(『新潮』昭和41年11月)

このうち、「紀ノ川」「有田川」「日高川」は、「川三部作」と呼ばれている。その第一作にあたる「紀ノ川」については、有吉が紀州出身の実母秋津^{あきつ}を納得させるために執筆したといわれている(朝日新聞和歌山支局編『紀の国の一〇〇人』和歌山県勢調査会、1969)。しかし、これらの作品は昭和34年から同41年という極限られた期間に集中して発表されている。

この時期は、日本の高度経済成長期であり、西岸良平の「三丁目の夕日」で語られているように、多くの若者が集団就職列車に揺られて、大都会へと移動した時期である。彼らは大都会に馴染もうとして、「お国ことば」をひたすらに隠そうと努力していたのである。そんな時期に、紀州を舞台にした小説が世に出され、そして主人公た

ちが標準語ではなく、堂々と紀州弁を話しているのである。私には、有吉のこれらの作品は、日本の高度経済成長期の全国平均化の動きに対するアンチテーゼのように思えてならない。

その中でも、一枚の葉書が教えてくれた小説「有田川」の創作背景は、まことに興味深いものがある。主人公の千代は、明治22年(1889)の有田川水害で孤児となりながらも、裕福な蜜柑農家で実の娘として育てられる。10歳そこそこでその事実を知った千代は、有田川の洪水に身を任せて、再び下流の滝川原たきかわらに孤児として流れ着くのである。

その後、孤児として出生の詳細を隠して、蜜柑農家の女衆おなごしとして暮らし、やがて蜜柑の仲買なみかんしを行う蜜柑師の男性と結ばれて、有田蜜柑の栽培に腐心する生涯を語っている。それは偉人伝に語られる女傑のそれとは異なって坦々としたものである。しかし、その間、日露戦争・大正デモクラシー・第二次世界大戦・戦後の民主化という社会の動きを、彼女の一生と絡ませている。坦々とした女性の一生が、社会から切り離せるものではないことを、見事に語っているのである。

この小説の中で、蜜柑栽培の方法、蜜柑農家の一年、栽培技術の変化などが驚くほど詳細に語られているのである。有田川で蜜柑を運ぶ川船を、小説では「ひだら舟」と称している。川船であるため、川底にあたらないように

船底が平たくしてあるため、本来は「平た舟」なのである。しかし、紀州弁では「からだ(身体)」が「かだら」になるように、「ら」と「だ」が往々にして逆転することがある。有吉はこのような方言も厳密に取材していたことがわかる。鉄道輸送が主流になった今では、このような川船はすでに有田川から消えてしまった。しかし、今でも年配の方は懐かしむように「ひだら舟」と呼んでいる。

有吉自身、敗戦前後に和歌山市に縁故疎開して、一時期和歌山県立和歌山高等女学校(以下、和高女)に通っていた。それゆえ、紀州には詳しいのだろうと安易に思いがちである。どうやら、それほど安易に考えてはいけないことを、この葉書が教えてくれているようである。この葉書は、小説「有田川」執筆中に、和高女時代の級友に宛てた礼状である。「あなたが頼りで書いている「有田川」です」とまで書いてあることから、この礼状をもらった女性は、一体何をしたのだろうか興味をわいてくる。すると、有田市内でまたもや一枚の写真(個人蔵)が見つかった。

和服姿の有吉が、「有田市農業協同組合」の文字を染め抜いた手拭てぬいを首にかけて、蜜柑山で蜜柑を摘む姿である。有吉ほどの有名人が有田市に来たのであれば、おそらく地方新聞で話題になっただろうと思いつつ、今は廃刊になった「和歌山新聞」という地方新聞



有田の蜜柑山にて

を、あたりをつけて検索してみた。すると、昭和37年11月25日に、講談社のスタッフと和高女時代の級友とともに、有吉自らが有田を取材に来ていることがわかった。この写真は、そのときのものである。

ところで、有田は蜜柑どころで、市内はどこを見ても蜜柑山ばかりである。では、なぜ有吉は数ある蜜柑山の中で、この蜜柑山を訪れたのだろうか。有吉の隣に写っている女性は、この蜜柑山の持ち主一家の主婦である。この女性の夫の弟が、先の礼状を受け取った女性の伴侶であることがわかった。すなわち、有吉は小説「有田川」執筆に際し、和高女時代の級友に伝手を求め、その級友は自分の縁戚関係を駆使して、有吉の要求に応えたのである。しかも、

この蜜柑山は有田市山田原やまだはらに所在していたこともわかった。そこで、礼状に「山田原の調査も有かとう」という文言の意味もわかったのである。

有吉の年譜を見ると、有吉が和高女に在籍していたのは、わずか数カ月のことである。したがって、和高女に通っていたからといって、それほど紀州に詳しいはずもないのである。しかし、その数カ月の間に築き上げられた友情が、小説「有田川」の取材に大きく作用したのである。すなわち、和高女時代の級友を介しての地道な取材活動が、小説「有田川」の執筆を支えていたのである。

有吉作品の「川三部作」は、いずれも紀州の女性が主人公でその生涯を、紀州弁を駆使して語っている。しかし、単に女性の生涯を語るだけでなく、女性を取り巻く社会の変化をきめ細かく描いている。小説「有田川」では、戦後民主化の中で、蜜柑の共同出荷が推奨されることになる。これによって、主人公千代の夫の蜜柑師としての仕事が急速になくなって行く状況が語られている。

小説「紀ノ川」では、主人公の開明的な長女が、東京の大学に進学し、盛んに「女権」を叫び、世が大正デモクラシーの時代であることを語っている。すなわち、主人公の生涯だけでなく、その周辺の社会の動きを丁寧ていねいに語っているのである。このような興味をもって有吉作品を読みなおすと、面白い発

見があるのではないだろうか。

私が館長を務めている有田市郷土資料館では、このような興味もあって、今年10月1日から11月27日まで、特別展「小説有田川の世界」を開催する予定である。もちろん、ここで紹介した有吉の礼状や蜜柑を摘む姿を写し

た写真なども展示する予定である。有吉が、小説「有田川」執筆のために杉並の自宅から、有田に取材したように、興味のある方は是非有田を訪れていただきたいものである。

〈表紙写真〉有吉佐和子の年賀状

新刊ニュース

5・6月の新刊 *発売予定のものもあります

歴史一般

事典／年表・地図／歴史学・補助学

駒見和夫・筑波大学附属聴覚特別支援学校中学部編
特別支援教育と博物館

特別支援学校に対する博物館利用の障壁を越えるための活動を検証し、楽しみながら学習する“博学連携”の視点と将来展望を指し示す。

A 5判 208頁 2,400円

同成社 [6月刊]

978-4-88621-729-5

考古学

概論・通史／日本／アジア／ヨーロッパ／アフリカ／アメリカ／その他

谷畑美帆著

コメを食べていなかった？ 弥生人

(市民の考古学 14)

四六判 160頁 1,500円

同成社 [5月刊]

コメづくりはいつから始まったのか？ 人骨資料を中心とした分析からわかってきた当時の生活様相や社会状況などを、わかりやすく紹介。

978-4-88621-725-7

日本史

概論・通史／史料／古代／中世／近世／近代／現代／地方史

館野和己・出田和久編

日本古代の交通・交流・情報 3

遺跡と技術

A 5判 380頁 5,500円

吉川弘文館 [6月刊]

近年、道路・駅家などの遺構が各地で発見されている。交通施設と交通に関わる技術から古代交通の様相を描き、その景観を考える。

978-4-642-01730-5

鈴木拓也編

三十八年戦争と蝦夷政策の転換

東北の古代史 4

四六判 254頁 2,400円

吉川弘文館 [6月刊]

阿弓流為と田村麻呂の時代を越えて…。征夷とその後の蝦夷社会から元慶の乱まで、9世紀を生きた「敗れし者」ではない蝦夷の姿！

978-4-642-06490-3

館野和己・出田和久編

日本古代の交通・交流・情報 2

旅と交易

A 5判 334頁 5,500円

吉川弘文館 [5月刊]

古代、天皇から商人まで様々な人が旅をし、使節らが海を渡った。文学作品や記録から旅の実態を再現し、情報の伝達・広がりを考える。

978-4-642-01729-9

千田 稔著

聖徳太子と斑鳩三寺

(人をおくる)

A 5判 152頁 2,000円

吉川弘文館 [6月刊]

推古女帝を補佐して仏教の興隆に尽し、後世、太子信仰を生み出した聖徳太子。飛鳥・斑鳩・大阪・京都を訪ねて、その実像を描く。

978-4-642-06792-8

河村日下著

記紀神話の真実

(古代の地平を拓く①)

四六判 624頁 6,000円

ミネルヴァ書房 [6月刊]

『古事記』や『日本書紀』などに描かれた神話にはどのような史実が隠されているかを、出雲や伯耆の現地調査に即して解明する。

978-4-623-07345-0

佐藤長門著

蘇我大臣家

倭王権を支えた雄族 (日本史リブレット人 3)

A 5 判変形 112 頁 800 円

山川出版社 [5 月刊]

王権内で生き抜くために外戚関係をつくり、群臣の支持獲得に努めた蘇我氏。最新の研究成果から蘇我氏盛衰の経緯と要因を探り、彼らの等身大の姿を考える。 978-4-634-54803-9

吉永匡史著

律令国家の軍事構造

(古代史選書 20)

A 5 判 264 頁 6,000 円

同成社 [6 月刊]

主に地方軍事力に着目しつつ、古代の律令軍事体制がいかに成立し管理・運用されたのかを、唐制との比較など世界的視点から考察する。 978-4-88621-730-1

神谷正昌著

平安宮廷の儀式と天皇

(古代史選書 19)

A 5 判 280 頁 6,000 円

同成社 [5 月刊]

宮廷社会の維持を目的とした儀式の本質を、律令制崩壊から平安貴族社会までの包括的な実証で解明。新たな平安時代像の構築を試みる。 978-4-88621-727-1

松島周一著

鎌倉時代の足利氏と三河

(中世史選書 21)

A 5 判 250 頁 5,500 円

同成社 [5 月刊]

東の鎌倉幕府と西の貴族・院が対峙する三河から、建武政権を倒し幕府を形成する室町時代への前奏を足利氏の足跡に聞きとろうと試みる。 978-4-88621-726-4

高橋秀樹著

三浦一族の研究

A 5 判 334 頁 3,800 円

吉川弘文館 [5 月刊]

桓武平氏出自説や、「三浦介」の成立事情、三浦義村や宝治合戦の実像などの諸問題を、「常識」にとらわれず追究。新たな実像に迫る。 978-4-642-02931-5

竹本千鶴著

織豊期の茶会と政治 〈オンデマンド版〉

A 5 判 476 頁 9,500 円

思文閣出版 [5 月刊]

信長による名物茶器をしつらえた茶会の場を中世史の中に位置付け、織田・豊臣政権における支配構造の側面を明らかにする。(初版 2006 年) 978-4-7842-7007-1

田中健夫著

対外関係と文化交流 〈オンデマンド版〉

A 5 判 690 頁 13,800 円

思文閣出版 [5 月刊]

中世から近世に至る日本の東アジアを中心とした対外関係と文化交流に光をあてる。16 世紀の対馬宗氏の二史料も収録。(初版 1982 年) 978-4-7842-7009-5

小和田哲男著

東海の戦国史

天下人を輩出した流通経済の要衝

四六判 354 頁 3,500 円

ミネルヴァ書房 [5 月刊]

信長・秀吉・家康などの天下人をはじめ、数多の大名の興亡を中央権力との関わりの中に位置づけ、経済、宗教、文化といった動向も紹介する。 978-4-623-07667-3

笹本正治著

甲信の戦国史

武田氏と山の民の興亡

四六判 380 頁 3,500 円

ミネルヴァ書房 [5 月刊]

武田氏、小笠原氏、村上氏、真田氏などの興亡を、その合戦の歴史だけでなく、信仰、物資流通、山の産物、食糧生産の変遷にも目を向けつつ解明する。 978-4-623-07659-8

山内 譲著

豊臣水軍興亡史

四六判 280 頁 2,300 円

吉川弘文館 [6 月刊]

秀吉は、瀬戸内の米島村上氏や伊勢海の九鬼氏らを水軍として重用した。「海上軍事力」としての彼らを通じ、豊臣政権を見直す。 978-4-642-08296-9

日本史史料研究会監修 渡邊大門編

信長軍の合戦史

1560-1582

四六判 208 頁 1,800 円

吉川弘文館 [6 月刊]

信頼性の高い一次史料から信長軍の合戦を解説。戦いの経過だけでなく、戦前・戦後の戦略的評価にも目を配り、信長の戦争の本質に迫る。 978-4-642-08297-6

吉田俊純著

水戸学の研究

明治維新史の再検討

A 5判 376頁 8,000円

明石書店 [5月刊]

978-4-7503-4342-6

竹ノ内雅人著

江戸の神社と都市社会

(歴史科学叢書)

A 5判 280頁 8,000円

校倉書房 [6月刊]

水戸藩による改革、尊王攘夷思想の成立過程、近代の水戸学理解や影響など幅広い視野から水戸学と明治維新史の関係を再検討する。

人口流入が進んだ近世都市における宗教が、どのような位置にあったか、宗教者がどのように存立していたのか、神社と神職を事例として明らかにする。

978-4-7517-4690-5

山澤学著

日光東照宮の成立〈オンデマンド版〉

近世日光山の「荘厳」と祭祀・組織

A 5判 420頁 8,500円

思文閣出版 [5月刊]

978-4-7842-7004-0

近世日光山における祭礼・法会の執行形態に注目し、構造的把握を通じて、その成立過程を明らかにする。(初版2009年)

佐野真由子著

幕末外交儀礼の研究

欧米外交官たちの将軍拝謁

四六判 420頁 5,000円

思文閣出版 [6月刊]

978-4-7842-1850-9

欧米諸国の外交官による将軍拝謁儀礼を検証。政治交渉の過程とは異なる次元で展開した外交儀礼の形成過程から見るもうひとつの幕末史。

光成準治著

毛利輝元

西国の僱任せ置かるの由候

四六判 428頁 3,800円

ミネルヴァ書房 [5月刊]

豊臣政権では五大老の一人、関ヶ原の戦いで西軍の総大将となった輝元。家中からの圧力に苦しみ、時代に翻弄されつつも、萩藩の礎を築いた生涯を描く。

978-4-623-07689-5

小田部雄次著

大元帥と皇族軍人 大正・昭和編

(歴史文化ライブラリー 429)

四六判 336頁 1,900円

吉川弘文館 [6月刊]

978-4-642-05829-2

天皇と皇族軍人の同調と不和の構図を追い、天皇を大元帥とした軍事大国の絶頂期からの変貌と、敗戦による陸海軍崩壊への過程を描く。

ゾーヤ・モルグン著／藤本和貴夫訳

ウラジオストク

1860～1937年の日本人居留民の歴史

A 5判 320頁 予価4,200円

東京堂出版 [6月刊]

978-4-490-20942-6

日本人が移住した1860年から、日露戦争・第一次大戦を経て日露関係が悪化し、全日本人が引き揚げる1937年までの歴史を追う。

世界史

概論・通史／アジア／ヨーロッパ／アフリカ／アメリカ／オセアニア

一般社団法人中国研究所編

中国年鑑 2016

B 5判 500頁 18,000円

明石書店 [5月刊]

978-4-7503-4347-1

中国一国を対象として1955年に創刊された年鑑。政治・外交・経済・産業から社会・文化・衣食住に至るまで、中国に関する最新情報を網羅。

許 粹烈著、庵澄由香訳

植民地初期の朝鮮農業

植民地近代化論の農業開発論を検証する

A 5判 352頁 8,000円

明石書店 [4月刊]

978-4-7503-4328-0

植民地支配により、朝鮮農業は開発され経済が安定し、あらゆる制度を近代化させたという植民地文化論。豊富な統計資料を用いて論証。

坂巻 清著

イギリス近世の国家と都市

王権・社團・アソシエーション

A 5判 320頁 4,800円

山川出版社 [5月刊]

978-4-634-67243-7

支配権力が民衆の社会的結合をどのように包摂したのか。中間団体の法人化に着目して、16・17世紀イギリスの国家秩序編成の過程を明らかにする。

田野大輔・柳原伸洋編著

教養のドイツ現代史

A 5判 360頁 3,000円 ミネルヴァ書房 [6月刊]

政治のみならず、文化、社会にも目を配った現代ドイツ史。映画や漫画、サブカルチャーの図版、写真を豊富に掲載。学べきポイントを整理する。

978-4-623-07270-5

藤内哲也編著

はじめて学ぶイタリアの歴史と文化

A 5判 384頁 3,200円 ミネルヴァ書房 [5月刊]

ファッションやスポーツ、文学、芸術や宗教等、数々の魅力溢れるテーマも盛り込み、読者を豊饒なイタリア史の世界へ誘う入門書。

978-4-623-07267-5

関 哲行・踊 共二著

忘れられたマイノリティー

迫害と共生のヨーロッパ史

四六判 256頁 2,500円 山川出版社 [5月刊]

宗教的マイノリティの視点から、キリスト教ヨーロッパ社会の深層をさぐるとともに、世界各地へ広がった宗教的マイノリティへの迫害の歴史にも目をむける。

978-4-634-64082-5

アナ・ロドリゲス・オリヴェイラ、ほか著、東 明彦訳

ポルトガルの歴史

小学校歴史教科書

A 5判 512頁 5,800円 明石書店 [4月刊]

ポルトガル史を体系的に学習する小学校5、6年生用の教科書の翻訳。国家形成や独立の維持を柱に豊富な図版・資料で描き出した通史。

978-4-7503-4346-4

マルク・ポーネ著／河原 温編

中世ヨーロッパの都市と国家

ブルゴーニュ公国時代のネーデルラント（山川レクチャーズB）

B 6判変型 152頁 1,500円 山川出版社 [5月刊]

14～16世紀、ネーデルラントにおける君主と都市の競合関係のなかで、都市と市民の多様な世界に「近代市民性」を読み解く。ベルギーの最高学府ヘント大学のポーネ教授による歴史学講義。 978-4-634-47508-3

古谷大輔・近藤和彦

礫岩のようなヨーロッパ

A 5判 240頁予定 3,800円 山川出版社 [6月刊]

近代の国民国家とは異なる複合的な国家秩序のあり方を検討し、「礫岩のような政体」を成していたヨーロッパの近世史をあらためて問う。

978-4-634-64083-2

松本 弘著

ムハンマド・アブドゥフ

イスラームの改革者（世界史リブレット人84）

A 5判変型 96頁 800円 山川出版社 [6月刊]

イスラーム世界で知らぬ者はいない近代エジプトのウラマーである彼の「伝統と近代文明の中間に行く」姿勢について改めて考える。

978-4-634-35084-7

岡本 勝著

アメリカにおけるタバコ戦争の軌跡

文化と健康をめぐる論争

A 5判 444頁 6,500円 ミネルヴァ書房 [5月刊]

タバコが大衆消費社会を象徴するようになった経緯、さらに広告が果たした役割まで、「タバコ戦争」とも呼ばれるようになる歴史的展開を詳述する。

978-4-623-07573-7

文化史文化史一般／政治・外交・経済／思想・宗教／
教育・科学／文学・美術・芸術／社会生活

安国良一著

日本近世貨幣史の研究

A 5判 330頁 6,800円 思文閣出版 [5月刊]

日本の歴史上、近世ほど多種類の貨幣が流通した時代はない。一国一通貨という貨幣観を解きほぐし、その独自の機能や意味づけを問いなおす。

978-4-7842-1848-6

根川幸男・井上章一編著

越境と連動の日系移民教育史

複数文化体験の視座

A 5判 488頁 8,000円 ミネルヴァ書房 [6月刊]

近代日本人の海外渡航史・移民史について、各地域の個別の実態に迫ると同時に複数地域を越境史的に把握することをめざす。

978-4-623-07544-7

楠 茂樹・楠 美佐子著

昭和思想史としての小泉信三

民主と保守の超克

四六判 450頁 4,500円

ミネルヴァ書房 [6月刊]

福澤諭吉、ハイエクとの知的交流、そして昭和史を通じた思想的遍歴をゼロ地点から捉える。小泉信三から見通す昭和思想史。

978-4-623-07737-3

上田美和著

自由主義は戦争を止められるのか

芦田均・清沢潤・石橋湛山 (歴史文化ライブラリー 426)

四六判 240頁 1,700円

吉川弘文館 [5月刊]

〈寛容〉と〈自律〉が対立する戦時下での芦田・清沢・石橋らの苦闘を探り、「自由主義は戦争を止められるのか」という問題に迫る。

978-4-642-05826-1

ジョン・ブリーン編

変容する聖地 伊勢

A 5判 340頁 2,800円

思文閣出版 [5月刊]

不変の聖地か／変容する聖地か——。国内外の一線の研究者による古代から近・現代にわたる論考16編を収め、伊勢神宮の変容の歴史をひもとく。

978-4-7842-1836-3

齋藤元紀・増田靖彦編著

21世紀の哲学をひらく

現代思想の最前線への招待

A 5判 296頁 3,500円

ミネルヴァ書房 [5月刊]

多様化と分散を続け、不透明さを増しているようにみえる現代の哲学・思想の論点を探るための水先案内人となるべく、現代を代表する哲学者・思想家が共有している根本的な論点を究明する。 978-4-623-07582-9

金賢旭著

翁の生成〈オンデマンド版〉

渡来文化と中世の神々

A 5判 250頁 5,000円

思文閣出版 [5月刊]

中世の翁信仰の生成過程を諸縁起や史料から読みとり、そこに色濃く反映された韓半島からの渡来文化の姿を見いだす。(初版2008年)

978-4-7842-7010-1

園城寺監修／園城寺の仏像編纂委員会編

園城寺の仏像 第一巻 智証大師篇

天台寺門宗教文化資料集成 仏教美術・文化財編

A 4判 170頁 12,000円

思文閣出版 [6月刊]

秘仏も含め多数のカットを掲載。それぞれに調査も付し、智証大師像を詳細にわたって理解できる内容となっている。図版はすべてカラー掲載。

978-4-7842-1765-6

石毛弓・柏木隆雄・小林宣之編

江戸文化が甦る

トロンコフ・コレクションで読み解く琳派から洞口健二まで 大手前大学比較文化研究部編

A 5判 390頁 3,800円

思文閣出版 [6月刊]

知られざる江戸版本、浮世絵の宝庫トロンコフ・コレクションをテーマに、近世美術から近代映像作品を対象として、多彩かつ厚重な論を収録。

978-4-7842-1847-9

村上保壽著

空海教学の真髓

「十卷章」を読む

四六判 253頁 2,300円

法蔵館 [5月刊]

空海の膨大な著作のなかから、その教学・教義の根本を学ぶために抜粋された『十卷章』を、現象学的解釈学の方法により的確に読み解いた、空海思想の核心を学ぶための必読書。978-4-8318-5756-9

寺井良宣著

天台円頓戒思想の成立と展開

A 5判 710頁 12,000円

法蔵館 [5月刊]

中世に比叡山を拠点に戒律復興を志した学僧たちの事蹟と、そこに成立した円頓戒思想の特色を解明。また後代の戒学振興運動に念仏思想を伴った持戒念仏の展開を跡づけた力作。978-4-8318-7387-3

三舟隆之著

『日本靈異記』説話の地域史的研究

A 5判 350頁 9,000円

法蔵館 [5月刊]

『日本靈異記』の各地域を舞台とした説話について、その地域の歴史的な背景と交通路の関係を考証し、説話の形成者が寺院を拠点として地域を往来する官僧であることを実証する。 978-4-8318-7391-0

益田 宗著

入道殿下の物語 大鏡

(読みなおす日本史)

四六判 222頁 2,200円

吉川弘文館 [5月刊]

平安中期、摂政・関白体制が成立。最盛期を迎える藤原道長の時代に至る推移を、歴史物語「大鏡」を軸に、平易な語り言葉で述べる。

978-4-642-06714-0

町田祐一著

近代日本の就職難物語

「高等遊民」になるけれど (歴史文化ライブラリー 428)

四六判 240頁 1,700円 吉川弘文館 [6月刊]

高学歴だが定職に就いていない「高等遊民」はいかに生み出され、社会はどう向き合ってきたのか。過酷で理不尽な就職事情の歴史に迫る。

978-4-642-05828-5

山村博美著

化粧の日本史

美意識の移りかわり (歴史文化ライブラリー 427)

四六判 238頁 1,700円 吉川弘文館 [5月刊]

メイクアップの変遷をたどり、流行の背景を社会現象とともに探る。美意識の変化やメディア戦略にも触れつつ、化粧の歴史を描きだす。

978-4-642-05827-8

関根達人著

モノから見たアイヌ文化史

A 5判 202頁 1,900円

吉川弘文館 [6月刊]

平安時代の和鏡から軍服用の米国製金ボタンにいたる「モノ資料」を取り上げ、文字を持たなかったアイヌ文化の歴史に迫る。

978-4-642-08295-2

大野出著

元三大師御籤本の研究〈オンデマンド版〉

おみくじを読み解く

A 5判 204頁 4,000円

思文閣出版 [5月刊]

おみくじに関する初めての研究書。おみくじの源流である元三大師御籤と称される史料群から、さまざまな歴史的現象を読み取る。(初版 2009年)

978-4-7842-7008-8

町田 忍著

銭湯

「浮世の垢」も落とす庶民の社交場

A 5判 208頁 1,800円

ミネルヴァ書房 [6月刊]

江戸のむかしから趣向を凝らした現代の銭湯まで。三十数年間で全国の銭湯を3500軒以上訪ねた著者が、豊富な経験をもとに、銭湯を歴史や庶民文化の側面から綴る。

978-4-623-07705-2

三宅和朗著

古代の人々の心性と環境

異界・境界・現世

A 5判 378頁 4,800円

吉川弘文館 [5月刊]

感じる光、声、ニオイ…。生活空間の周囲に広がる異界と古代の人々との関わりから、彼らの心性に迫り、現代の社会や環境を見直す。

978-4-642-04630-5

岩本憲児著

「時代映画」の誕生

講談・小説・剣劇から時代劇へ

A 5判 368頁 4,500円

吉川弘文館 [6月刊]

時代背景も登場人物も現実からほど遠い時代映画が、なぜ観客を魅了したのか。脚本や映像を分析し、講談・小説・剣劇との関係を探る。

978-4-642-01654-4

脇田晴子著

中世京都と祇園祭

疫神と都市の生活 (読みなおす日本史)

四六判 248頁 2,200円

吉川弘文館 [6月刊]

祇園祭は都市から疫病を退散させ人々の生活を守る目的で始まり、祭りの形式は全国の先駆けとなった。中世戦乱から千年続く歴史を描く。

978-4-642-06715-7

上野学園大学 日本音楽史研究所編

陽明文庫蔵 舞絵 (舞楽散楽図)・法隆寺旧蔵 羯鼓

日本音楽史料叢刊

A 4判横綴 256頁 2,700円

思文閣出版 [5月刊]

日本音楽史研究に必須の史料を厳選するシリーズ。唐代舞楽・散楽の白描画と、康治二年墨銘の西域の楽器をカラー図版で収録し、解説を付す。

978-4-7842-1804-2

伝記

豊田 武著

英雄と伝説 【オンデマンド版】

はなわ新書50

B 6判 242頁 2,400円

塙書房 [5月刊]

日本史上英雄と目される人物、田村麻呂・道真・将門・義経・時頼・正成・信長・秀吉等の伝説化の経緯を、社会の動きと関連させ新見を示し詳述。

978-4-8273-4550-6

刑部芳則著

三条実美

孤独の宰相とその一族

A 5判 272頁 2,500円

吉川弘文館 [5月刊]

明治政府の最高責任者として要職を歴任した三条実美の評価が低いのはなぜか。彼自身の言動と一族との関係から人物像を再評価する。

978-4-642-08294-5

地 理

エピソードで読む世界の国編集委員会編

2016 エピソードで読む世界の国 243

B 5判 296頁 1,600円

山川出版社 [5月刊]

世界の国と地域について、豊富な写真資料を添えて歴史や雑学エピソードを紹介。巻頭特集「オリンピック&パラリンピックの基礎知識」も収載。

978-4-634-15095-9

雑 誌

日本歴史

日本歴史学会編集

6月号(第817) = 5月刊
7月号(第818) = 6月刊

日本史専門の月刊誌として、また最も親しみやすい歴史知識の普及誌として、研究者から一般社会人まで、幅広い各層が購読。

一年間直接購読料 8,300円 [税・送料込]

◆各種割引制度有

二年間前払い 16,000円 [税・送料込]

三年間前払い 23,500円 [税・送料込]

学生・院生 一年間 5,000円 [税・送料込]

A 5判 6月号 = 130頁、7月号 = 130頁

6月号 = 741円、7月号 = 741円

吉川弘文館 [5・6月刊]

歴史書以外の 人文社会図書新刊案内

2016.5・6

明石書店

創造か死か ラテンアメリカに希望を生む革新の5つの鍵

アンドレス・オッペンハイマー著、渡邊尚人訳……………四六判 3,800円 4月

平和のために捧げた生涯 ベルタ・フォン・ズットナー伝(世界人権問題叢書)

ブリギッテ・ハーマン著、井川修・中村生訳……………四六判 6,500円 5月

よくわかる緊急事態条項Q&A 災害やテロに国家緊急権は必要か 永井幸寿編著……………A5判 1,600円 5月

ラトヴィアを知るための60章 エリア・スタディーズ 志摩園子編著……………四六判 2,000円 5月

思文閣出版

おもてなしとマナー 和食文化ブックレット③ 熊倉功夫・後藤加寿子著……………A5判 900円 6月

塙書房

上代日本文學と中國文學 上 出典論を中心とする比較文学的考察【オンデマンド版】 小島憲之著……………A5判 14,000円 5月

上代日本文學と中國文學 中 出典論を中心とする比較文学的考察【オンデマンド版】 小島憲之著……………A5判 11,000円 5月

上代日本文學と中國文學 下 出典論を中心とする比較文学的考察【オンデマンド版】 小島憲之著……………A5判 14,000円 5月

法蔵館

改訂新版 歎異抄講義 上(仮) 三明智彰著……………四六判 2,200円 6月

改訂新版 歎異抄講義 下(仮) 三明智彰著……………四六判 2,700円 6月

仏教と心理学の接点 藤 能成編著……………A5判 2,800円 6月

ミネルヴァ書房

二〇一二年衆院選 政権奪還選挙 民主党はなぜ敗れたのか 白鳥 浩編著……………四六判 3,500円 5月

中東の新たな秩序 グローバル・サウスはいま③ 松尾昌樹・岡野内 正・吉川卓郎編著……………A5判 3,800円 5月

ジョンソン政権における核不拡散政策の変容と進展 新垣 拓著……………A5判 7,000円 5月

未来を創造する国際マーケティング戦略論 標準化・適応化戦略の理論と実践

金 炯中著……………※表示価格はすべて本体価格です。……………A5判 3,600円 5月

〈オトコの育児〉の社会学 家族をめぐる喜びととまどい

工藤保則・西川知亨・山田 容編著……………A5判 2,400円 5月

「労働力」の成立と現代市民社会 近代日本の歴史認識Ⅱ 東條由紀彦編著……………A5判 8,500円 5月

国際政治理論 大芝 亮著……………A5判 2,800円 6月

なぜ日本型統治システムは疲弊したのか 憲法学・政治学・行政学からのアプローチ

大石 眞監修／縣 公一郎・笠原英彦編著	……………A 5 判	7,000 円	6 月
執政制度の比較政治学 日本比較政治学会編	……………A 5 判	3,000 円	6 月
野蛮から生存の開発論 越境する援助のデザイン 佐藤 仁著	……………四六判	2,800 円	6 月
「地方創生」へのまちづくり・ひとづくり			
袖井孝子編著・佐藤 滋・木村清一・高橋英與・辻 利夫・澤岡詩野・戸田達喜著	……………四六判	2,200 円	6 月

歴史書懇話会とは

1968年6月に歴史書を刊行する有志出版社7社で結成され、現在11社が加盟しています。結成以来40年余「すぐれた歴史書の普及とその販売を積極的に推進する。本会はその目標達成のため、会員相互の協力によって必要な研究ならびに事業を行う」(会規約)の精神に基づき活動しています。

〈歴史書懇話会〉の主な事業

◆「歴史書通信」(隔月刊)最新の歴史書情報を提供しています!

会員各社の新刊・重版情報、誌上フェア、書店情報を掲載する出版情報誌。歴史関連のエッセイなども掲載し、歴史知識の普及をはかっています。ご購入を希望される方は最寄の書店を通して、事務局までお申込み下さい。

◆「歴史書ベストフェア」小規模書店にも本格派の歴史書を!

全国約90書店で会員社の歴史書40冊余を1年間展示販売しています。選択セットを加え、最大規模は120冊のセットとなります。出品リスト及び販売店一覧は「歴史書通信」5月号に掲載します。

◆「特設店」全国に18拠点、専門書の充実した品揃えが魅力です!

特設店を設けて、歴史専門図書の店頭展開をはかっています。現在、全国主要都市に18店の特設店があり、一般書店では展示販売できない歴史専門書の店頭販売に協力をお願いします。特設店では多くの新刊・常備品を揃えとともに、テーマフェア、各社フェアを随時開催しています。

◆「歴史リバイバル」復刊書フェアとしてご好評いただいています。

統一復刊・重版事業「歴史リバイバル」を実施しています。一社では困難な専門書の復刊・重版を共同で行う活動です。読者から要望の多い名著や基本図書を復刊し、特設店を中心に毎年100店近い書店・大学生協で店頭フェアを展開しています。

◆「ホームページ」&「メール通信」による情報発信

当会のホームページでは、新聞書評階報、歴史書の検索、書店フェアや各社の新刊案内、特設書店とのリンク、歴史書懇話会からメール通信を配信するメールアドレス登録の受付、「歴史書通信」PDF版などを掲載しています。

メール配信のお申込みは<http://www.hozokan.co.jp/rekikon/>からお願いします。

〈会員社〉明石書店・校倉書房・思文閣出版・東京堂出版・刀水書房・同成社・塙書房・法藏館・ミネルヴァ書房・山川出版社・吉川弘文館

2016年〔歴史書〕ベストフェア

▶ 出品 / 参加書店一覧 ◀

歴史に学び、^{いま}現在を知る

明石書店

イギリスの歴史【帝国の衝撃】

- ジェイミー・バイロン、マイケル・ライリー、クリストファー・カルビン著／前川一郎訳……………2,400円
明治・大正・昭和 絵葉書地図コレクション 鈴木純子著……………2,700円
アメリカの歴史を知るための63章【第3版】 富田虎男・鶴月裕典・佐藤門編著……………2,000円
マルクスと日本人 佐藤 優・山崎 耕一郎著……………1,400円

思文閣出版

- 平安王朝の葬送 臈谷 寿著……………3,700円

東京堂出版

- くずし字解説辞典(普及版) 見玉幸多編……………2,200円
くずし字用例辞典(普及版) 見玉幸多編……………5,800円
日本史年表 増補5版 東京学芸大学日本史研究室編……………2,700円
戦国の風景 暮らしと合戦 西ヶ谷恭弘著……………2,400円

刀水書房

- イギリス発見の旅 学者と女性と観光客 【世界史の鏡】 指 昭博著……………1,600円
歴史を変えた火山噴火 自然災害の環境史 【世界史の鏡】 石 弘之著……………1,600円

同成社

- 新版 入門者のための考古学教室 山岸良二著……………1,900円
六十の手習い 古文書を読む 山本光正著……………1,700円
吉野ヶ里遺跡 七田忠昭著……………1,800円
日本史年表・年号ハンドブック 阿部 猛編……………1,200円

塙書房

- 日本史の中の和歌浦 寺西貞弘著……………2,000円
地藏信仰 速水 侑著……………800円
稻荷信仰 近藤喜博著……………950円
八幡信仰 中野幡能著……………950円

法 藏 館

真宗門徒はどこへ行くのか 蒲池勢至著	1,800円
修験道小事典 宮家 準著	1,800円
ブータンと幸福論 本林靖久著	1,800円

ミネルヴァ書房

「邪馬台国」はなかった 古田武彦著	2,800円
失われた九州王朝 古田武彦著	2,800円
盗まれた神話 古田武彦著	2,800円

山川出版社

もういちど読む山川日本史 五味文彦・鳥海 靖編	1,500円
もういちど読む山川世界史 『世界の歴史』編集員会編	1,500円
もういちど読む山川日本近代史 鳥海 靖著	1,500円
もういちど読む山川世界現代史 木谷 勤著	1,500円

吉川弘文館

日本史を学ぶための古文書・古記録訓読法 日本史史料研究会監修／薊米一志著	1,700円
現代語訳 小右記1 倉本一宏編	2,800円
ステップアップ 古文書の読み解き方 天野清文ほか著	2,400円
真田昌幸(人物叢書) 柴辻俊六著	1,900円

2016 年歴史書ベストフェア 参加書店一覧

2016 年 4 月 1 日

北海道

千歳市 文教堂書店千歳店

岩手県

一関市 書林・北上書房
紫波郡紫波町 本のくずおか

秋田県

秋田市 文教堂書店八橋店

山形県

山形市 こまつ書店寿町本店

福島県

白河市 文教堂書店新白河店
相馬市 文芸堂書店相馬店

茨城県

古河市 セキグチ書店

栃木県

足利市 岩下書店
日光市 文教堂書店今市店

群馬県

高崎市 戸田書店高崎店
桐生市 戸田書店桐生店
吾妻郡中之条町 戸田書店中之条店

埼玉県

さいたま市 板山明文堂

千葉県

鴨川市 すばる書店
TSUTAYA 鴨川店

四街道市 すばる書店
TSUTAYA 四街道店

東京都

世田谷区 文教堂書店経堂店

神奈川県

川崎市 文教堂書店溝ノ口駅前店
鎌倉市 文教堂書店大船モール店
鎌倉市 大里書店
茅ヶ崎市 長谷川書店
ネスバ茅ヶ崎店

新潟県

加茂市 番場堂書店
上越市 戸田書店上越店

富山県

富山市 文苑堂書店藤の木店
高岡市 文苑堂書店福田本店
高岡市 文苑堂書店新野村店

石川県

金沢市 金澤文苑堂示野本店
金沢市 金沢百番街うつのみや
野々市市 うつのみや金沢工大前店
野々市市 うつのみや野々市上林店

長野県

松本市 興文堂平田店
諏訪市 せいりん堂
小諸市 竹澤書店野岸店
伊那市 ニシザワ BOOKS &
CAFE いなっせ店
東筑摩郡山形村 興文堂 i C I T Y

岐阜県

岐阜市 カルコス本店
各務原市 カルコス各務原店
瑞穂市 カルコス穂積店

静岡県

浜松市 安間書店
伊豆の国市 文教堂書店大仁店

愛知県

名古屋市 ザ・リブレット千種店
名古屋市 ザ・リブレットヒルズウォーク徳重ガーデンズ店
一宮市 カルコス一宮店
小牧市 カルコス小牧店
知多郡東浦町 ザ・リブレット東浦店

三重県

津市 青山書店
四日市市 宮脇書店イオン四日市泊店
伊勢市 宮脇書店伊勢店

滋賀県

彦根市 太田書店
草津市 Book house ひらがき
エイスクエア店

高 島 市 玉 垣 芳 文 堂	加 西 市 西 村 書 店	山 口 県	
		下 松 市 明 林 堂 書 店 モール 周 南 店	
京都府	奈良県	徳島県	
京 都 市 葵 書 房	奈 良 市 豊 住 書 店	徳 島 市 井 関 書 店	
京 都 市 ブックバル文苑山科店	奈 良 市 た つ み 書 店	徳 島 市 附 家 書 店 国 府 店	
京 都 市 葵 書 房 洛 西 店	奈 良 市 啓 林 堂 書 店 奈 良 店	板 野 郡 松 茂 町 附 家 書 店 松 茂 店	
福 知 山 市 A V I X 福 知 山 店	奈 良 市 啓 林 堂 書 店 西 大 寺 店		
亀 岡 市 宮 脇 書 店 イオン 亀 岡 店	大 和 郡 山 市 喜 久 屋 書 店 大 和 郡 山 店		
木 津 川 市 宮 脇 書 店 木 津 川 店	生 駒 市 啓 林 堂 書 店 生 駒 店	香川県	
		高 松 市 宮 脇 書 店 本 店	
大阪府	和歌山県	大分県	
大 阪 市 西 坂 書 店	橋 本 市 ツ モ リ 西 部 店	別 府 市 明 林 堂 書 店 別 府 本 店	
富 田 林 市 喜 久 屋 書 店 富 田 林 店	田 辺 市 多 屋 孫 書 店		
高 槻 市 ジュンク堂書店高槻店		宮崎県	
兵庫県	岡山県	都 城 市 田 中 書 店 妻 ヶ 丘 本 店	
神 戸 市 文 進 堂 書 店	岡 山 市 宮 脇 書 店 平 島 店	都 城 市 田 中 書 店 イオン モー	
姫 路 市 宮 本 書 店	岡 山 市 本 の 森 セ ル バ 岡 山 店	ル ミ エ ル 都 城 駅 前 店	
姫 路 市 宮 本 書 店	倉 敷 市 宮 脇 書 店 今 城 玉 島 店		
姫 路 市 黒 田 書 店	笠 岡 市 宮 脇 書 店 新 笠 岡 店		
姫 路 市 大 塚 書 店	総 社 市 荒 木 書 店		
加 古 川 市 宮 脇 書 店 加 古 川 店	高 梁 市 開 進 堂 書 店 高 梁 店		

歴懇リバイバル 2016

名著・基本図書を一括復刊！

明石書店

地図がつくったタイ (明石ライブラリー58) トンチャイ・ウイニッチャクン著/石井米雄訳……………3,980円
19世紀、英仏列強に挟まれたシャムは権益を守るため軍隊と地図作製隊を使い周縁に進出。国家や国民という観念の創造と近代的地図の相関関係を明かす。【4刷】

校倉書房

地域史の方法と実践 吉田伸之著……………6,000円
千葉県史、千葉市史、飯田市歴史研究所創立などに関わったことから、地域社会の研究・叙述の方法を考え、地域史料の調査法に関する論議をまとめた。【2刷】

刀水書房

古代末期の世界 ローマ帝国はなぜキリスト教化したか？【改訂新版】 ビーター・ブラウン著/宮島直機訳…2,800円
【刀水歴史全書58】 古代末期を中世への移行期ではなく独自の文化的世界と見なす画期的な書。鬼才P.ブラウンによる「この数十年の間で最も影響力をもつ歴史書！」(書評)【2刷】

ドイツ三十年戦争 C.ヴェロニカ・ウェッジウッド著/瀬原義生訳……………10,000円
名前だけは有名だが、専門家以外には知られていなかったこの戦争の実態を、当時の複雑な政治社会の中に、躍動的に描いた本邦初の本格的通史。【3刷】

同成社

縄文土器の技法 (考古学研究調査レポート2) 可見通宏著……………1,500円
縄文土器はどのようにして作られたのか。粘土の採取から完成までをわかりやすく解説しつつ、現時点で考えうる当時の土器製作工程を再構築する。【2刷】

隼人と古代日本 (古代史叢書6) 永山修一著……………5,000円
隼人=「夷狄」とする従来の歴史観に疑問を呈し、律令国家によって征服対象とされた彼らの抵抗と戦いの歴史を描き、律令政府の支配論理を解剖する。【2刷】

法蔵館

現代語訳 南海寄帰内法伝 義浄撰/宮林昭彦・加藤榮司訳……………9,000円
歴史の教科書に登場する『南海寄帰内法伝』。義浄が著した7世紀インドの衣食住にわたる戒律の実態。その第一級資料を正確にわかりやすく現代語訳に。【2刷】

塙 書 房

- 上代日本文學と中國文學 上《OD版》小島憲之著……………14,000円
 上代文学の表現に関し、大陸文学摂取享受の状態を、敦煌文書その他の資料を利用、出典論の立場から比較文学的方法により、巨視的・微視的に考察した雄篇。【元版7刷】
- 上代日本文學と中國文學 中《OD版》小島憲之著……………11,000円
 上巻は古事記・日本書紀・風土記中心のいわば上代散文編。中巻は、万葉集篇。【元版7刷】
- 上代日本文學と中國文學 下《OD版》小島憲之著……………14,000円
 下巻は、奈良朝末期から平安朝初頭にかけての散文韻文を選びすぐったいわば上代詩篇と名付けられるものである。昭和40年度恩賜賞受賞。【元版7刷】
- 英雄と伝説《OD版》豊田 武著……………2,400円
 日本史上英雄と目される人物、田村麻呂・将門・義経・時頼・正成・信長・秀吉等の伝説化の経緯を、社会の動きと関連させ、新見を示し詳述。【元版初版】

山川出版社

- 出雲国風土記 沖森卓也・佐藤信・矢嶋泉編著……………1,700円
 古代神話・伝承の宝庫『出雲国風土記』を、日本史学・日本文学・日本語学の研究者が学際的に共同研究した成果をまとめた書。【7刷】

吉川弘文館

- 聖徳太子 (人物叢書) 坂本太郎著……………1,900円
 日本史上不世出の偉人。史実と伝説を峻別し、推理や憶測を排し透徹の史眼で描く太子伝の決定版。【12刷】
- 鑑 真 (人物叢書) 安藤更正著……………1,900円
 5度の渡海失敗にめげず失明の身で来朝、奈良仏教と日本文化に大感化与えた唐僧、唐招提寺開祖。【9刷】
- 西 行 (人物叢書) 目崎徳衛著……………1,800円
 知られなかった多くの史実を明らかにし、数奇の遁世者、西行の特異な生き方の全貌を平易に描く。【9刷】
- 足利義昭 (人物叢書) 奥野高広著……………2,200円
 室町幕府最後の将軍。失脚後も見果ぬ夢抱いて転々諸国を流浪。運命に翻弄された数奇な生涯を描く。【4刷】
- 千 利休 (人物叢書) 芳賀幸四郎著……………2,200円
 茶聖利休！偉大な芸術の天才。其人と芸を転換期の世相上に浮彫し、自刃し果る数奇な生涯を描く。【10刷】
- 徳川家光 (人物叢書) 藤井謙治著……………1,900円
 江戸幕府3代将軍。機構の整備、大名統制、鎖国等により幕制を確立。「生まれながらの将軍」を描く。【2刷】
- 島津斉彬 (人物叢書) 芳 即正著……………1,900円
 人格・識見に優れ、内治・外交に卓抜な英知を示す。殖産興業・富国強兵に努めた開明派薩摩藩主の伝。【4刷】
- 高杉晋作 (人物叢書) 梅溪 昇著……………2,200円
 幕末の長州藩士。尊攘・討幕運動を指導し、土庶混成の奇兵隊を創設。維新の夜明け前に病没した短い波乱の生涯を再現し、実像に迫る。【2刷】

歴懇リバイバル

参加書店一覧

2016年5月31日

北海道		太田市	ブックマンズアカデミー	八王子市	首都大学東京生協
札幌市	三省堂書店札幌店		太田店		南大沢購買書籍部
札幌市	北海道大学生協	太田市	喜久屋書店太田店	武蔵野市	ジュンク堂書店吉祥寺店
	書籍部クラーク店			多摩市	丸善多摩センター店
青森県		埼玉県		立川市	ジュンク堂書店
弘前市	紀伊國屋書店弘前店	さいたま市	須原屋本店		立川高島屋店
		さいたま市	ジュンク堂書店	立川市	オリオン書房ノルテ店
			大宮高島屋店		
岩手県		さいたま市	紀伊國屋書店	神奈川県	
盛岡市	ジュンク堂書店盛岡店		さいたま新都心店	横浜市	有隣堂本店
				藤沢市	ジュンク堂書店藤沢店
				藤沢市	有隣堂藤沢店
宮城県		千葉県		静岡県	
仙台市	紀伊國屋書店仙台店	松戸市	ジュンク堂書店	静岡市	戸田書店静岡本店2F
仙台市	ジュンク堂書店仙台TR店		松戸伊勢丹店	静岡市	MARUZEN&ジ
仙台市	丸善仙台アエル店	習志野市	丸善津田沼店		ュンク堂書店新静岡店
仙台市	東北大学生協文系書籍店			浜松市	谷島屋浜松本店
福島県		東京都			
郡山市	ジュンク堂書店郡山店	渋谷区	MARUZEN&ジ		
			ュンク堂書店渋谷店	山梨県	
茨城県		新宿区	早稲田大学生協戸山店	甲府市	ジュンク堂書店岡島甲府店
水戸市	川又書店県庁店	新宿区	ブックファースト新宿店		
		千代田区	岩波ブックセンター信山社	長野県	
		千代田区	三省堂書店神保町本店	松本市	丸善松本店
群馬県		千代田区	書泉グランデ		
前橋市	換乎堂本店	千代田区	東京堂書店神田神保町店	新潟県	
前橋市	戸田書店前橋本店	千代田区	丸善丸の内本店	新潟市	ジュンク堂書店新潟店
前橋市	ブックマンズアカデミー	豊島区	三省堂書店池袋本店		
	前橋店	豊島区	ジュンク堂書店池袋本店		
高崎市	ブックマンズアカデミー	文京区	東京大学生協本郷書籍部		
	高崎店	目黒区	東京大学生協駒場書籍部		

富山県		奈良県		香川県	
富山市	BOOKSなかだ本店 専門書館	奈良市	啓林堂書店奈良店	高松市	宮脇書店本店
高岡市	文苑堂書店福本店	大阪府		愛媛県	
石川県		大阪市	ジュンク堂書店大阪本店	松山市	ジュンク堂書店松山店
金沢市	うつのみや金沢香林坊店	大阪市	MARUZEN&ジュンク堂書店梅田店	松山市	紀伊國屋書店 いよてつ高島屋店
愛知県		大阪市	喜久屋書店阿倍野店	福岡県	
名古屋市	名古屋大学生協 書籍部南部店	兵庫県		福岡市	紀伊國屋書店福岡本店
名古屋市	ちくさ正文館書店	神戸市	ジュンク堂書店三宮店	福岡市	丸善博多店
名古屋市	ジュンク堂書店名古屋店	神戸市	ジュンク堂書店三宮駅前店	福岡市	ジュンク堂書店福岡店
名古屋市	丸善名古屋本店	姫路市	ジュンク堂書店姫路店	鹿児島県	
豊橋市	精文館書店本店	岡山県		鹿児島市	ジュンク堂書店鹿児島店
滋賀県		岡山市	丸善岡山シンフォニービル店	鹿児島市	ブックスマスミオブシア店
大津市	大垣書店フォレオ 大津一里山店	岡山市	岡山大学生協ブックストア	鹿児島市	鹿児島大学生協中央店
草津市	ジュンク堂書店滋賀草津店	倉敷市	喜久屋書店倉敷店	沖縄県	
京都府		広島県		那覇市	ジュンク堂書店那覇店
京都市	丸善京都本店	広島市	紀伊國屋書店広島店	中頭郡西原町	琉球大学生協中央店
京都市	京都大学生協書籍部ルネ	広島市	ジュンク堂書店広島駅前店		
京都市	立命館生協ブックセンターふらっと	広島市	丸善広島店		
京都市	アバンティブックセンター	島根県			
京都市	ジュンク堂書店京都店	松江市	今井書店グループ センター店		
京都市	大垣書店イオンモールKYOTO店	出雲市	今井書店出雲店		

◆3年振りの共同復刊フェア「歴懇リバイバル」を全国89書店（5月末日現在）で開催いたします。8社20点の強力ラインナップ（！）、海老茶色の共通帯が目印です。書目一覧及びフェア開催の書店さまのお名前は、本誌に掲載いたします。お近くにお越しの折には、是非お立ち寄りください。

◆月代わりで「歴史書懇話会・今月のオススメ」の連続ミニフェアを次の8書店で開催中です（かっこの数字はフェア開始の日付）。◇天童市TENDO八文字屋（2006年7月～）／◇新潟紀伊國屋書店新潟店（2007年8月～）◇松江市今井書店グループセンター店（2008年6月～）／◇大阪市喜久屋書店阿倍野店（2013年11月～）／◇紀伊國屋書店グランフロント大阪店（2013年11月～）／◇大阪市ジュンク堂書店上本町店（2013年11月～）／◇出雲市今井書店出雲店（2014年7月～）／◇名古屋ジュンク堂書店名古屋ロフト店（2015年6月～）…お近くの読者の皆さま、是非お訪ねください。

◆1か月ほど前の事です。かつて、国のハンセン病患者隔離政策に反対して独自の治療を行った、元京大医学部助教授小笠原登の日記・書簡を紹介するTV番組「E T V特集：らいは不治にあらざらずーハンセン病隔離に抗った医師の記録」を視ました。京大で小笠原は自らの治療の経験から「らい菌は伝染性が弱く治療も可能」と、別の病名の診断書を発行するなどして、隔離させずに患者の治療を続け、1948年大学退官後も他の病院で皮膚科医長を務めながら、病院ではなく自分の宿舍で密かにハンセン病患者の治療を続けていた事が記録されていました。小笠原は1970年に亡くなり、まもなく、ハンセン病が特定の人だけに発症するのは、アレルギーや花粉症と同じで免疫病だということが明らかになりました。菌そのものに毒性はなく、体に入っただけでは発病しないので、隔離の必要はなかったとの事、小笠原の考えが現代の免疫学によって裏付けられたのです。◆以前この歴懇ニュースで、全てのハンセン病患者を根こそぎ収容して強制隔離する「癩予防法」（1931年）に触れました。1943年の特效薬プロミンの開発以降、開放外来治療に変わる世界の主流に反して、日本では1996（平成8）年3月まで、この「癩予防法」が廃止されなかったのです。◆この「隔離法案」は15年前の2001年、熊本地裁による違憲判決が下されて、当時の小泉首相は謝罪しました。そして、15年後の今年「最高裁が、ハンセン病患者の裁判が隔離先に設けられた特別法廷で開かれていた事の違法性を認めて謝罪した」と新聞各紙が報じていました。◆ハンセン病患者の強制隔離に関わる記録やTV、報道に接するたびに心が痛みます。子供のころTVで、名画とされていた『小島の春』という映画を視て、ハンセン病を知り、同時に、主人公の女医の献身的な活動に感動したことを思い出すからです。女医は患者の幸せを確信して隔離施設へ誘うのです。強制的な隔離という事がどんなに人間性をないがしろにする事か、映画を見た当時の幼い自分には分からなかった事が悔しいからです。◆立場を変えて考えることの大切さを思います。差別される者の立場に、さらには他者の立場に自らを置いて考える事が出来るだろうか。歴史書を刊行する私たちにとっても、視点を変える、他者の眼を持つことは大切だと思っています。（FN）

実物を再現した復刻版だからこそ実感できる等身大の『兵隊』の姿。

戦後七〇年を経た今だからこそ、国内でなく戦地で五年間も続き三九巻が刊行された意味を究める事ができるのではないか……

復刻雑誌

『兵隊』



四六倍判・全三六巻・一九四二頁・
合本(四分冊)一版・箱入
¥三〇〇〇〇／「補遺」三巻合本並製 ¥三〇〇〇

◆刊行時推薦者
木村尚三郎／小沢昭一／鶴見俊輔／石田一郎

日中戦争のさなか、中国の広東で南支派遣軍報道部が刊行し検閲もなく、自由に編集執筆されたという兵隊の投稿雑誌。初代編集長は火野葦平。昭和十四年五月から十九年五月までの五年間続いた全三九巻。国内には殆ど無かった原本を(全国の図書館で確認できたのは39巻の内、僅か3巻)弊社創業者桑原が二〇〇年かけて集め、二〇〇四年夏、全巻の復刻を実現した

……『兵隊』が提供する情報は、大東亜戦争下の文学のみならず、大衆娯楽をはじめ、中国社会にかかわる記録庫として、多くの研究素材を用意している。それらの諸記録は、兵隊の目線がとらえたものだけに、民衆生活を識るフィールド・ノートたる趣がある

(解題) 大濱徹也より

刀水歴史全書で戦争を考える

四六判・平均300頁

47 日本人と戦争 歴史としての戦争体験 大濱徹也著 ¥二、四〇〇

51 沖縄の反戦ばあちゃん 松田カメ口述生活史 平松幸三編 ¥二、〇〇〇

54 戦争と人間の歴史 人間はなぜ戦争をするのか? J・キーガン著／井上堯裕訳 ¥二、〇〇〇

61 敵国日本 太平洋戦争時、アメリカは日本をどう見たか? H・バイアス著／内山秀夫他訳 ¥二、〇〇〇

64 庶民のみた日清・日露戦争 帝国への歩み 大濱徹也著 ¥二、二〇〇

69 昭和帝国の暗殺政治 テロとクーデタの時代 H・バイアス著／内山秀夫他訳 ¥二、五〇〇

70 祖国のために死ぬ自由 徴兵拒否の日系アメリカ人たち E・L・ミューラー著／飯野正子監訳 ¥三、〇〇〇

74 太平洋戦争にいたる道 あるアメリカ人記者の見た日本 W・フライシャー著／内山秀夫訳 ¥二、八〇〇

75 ベトナム戦争のアメリカ もう一つのアメリカ史 白井洋子著 ¥二、五〇〇

89 ある反戦ベトナム帰還兵の回想

W・D・エアハート著／白井洋子訳 四六〇頁 ¥三、五〇〇

詩人で元米海兵隊員が、ベトナム戦争の従軍体験と、帰還後に反戦平和を訴える闘士となるまでを綴った自伝的回想。「あたかも小説のごとき臨場感に満ちた一冊。まだPTSDなる概念も普及しておらず帰還兵の処遇もい加減だったニクソン政権期の混沌が伝わってくる(書評から)」

【価格は税抜】
〒101-0065

千代田区西神田2-4-1東方学会本館

刀水書房

tel. 03-3261-6190

fax. 03-3261-2234

http://www.tousuishobou.com

礫岩のようなヨーロッパ

古谷大輔・近藤和彦編

A5判 本体3800円

「礫岩のような政体」から構成されていた近世のヨーロッパ。近代の国民国家とは異なる複合的な国家秩序のあり方を検討し、ヨーロッパの近世史をあらためて問う。7月刊行

忘れられたマイノリティ

―迫害と共生のヨーロッパ史

関哲行・踊共二著 四六判 256頁 本体2500円

ユダヤ人、ムスリム、キリスト教世界のなかの異端など、宗教的マイノリティの視点からヨーロッパ社会の深層をさぐり、世界各国へと広がった迫害の歴史にも目を向ける。

イギリス近世の国家と都市

―王権・社団・アソシエーション

坂巻清著 A5判 320頁 本体4800円

16〜17世紀イギリスの国家秩序の編成において、支配権力が民衆の自発的な社会的結合をどのようにして包摂してきたのかを法人団体に着目して解明する。

山川レクチャーズ8

中世ヨーロッパの都市と国家

―ブルゴーニュ公国時代のネーデルラント

マルク・ポーネ著 河原温編 B6変型判 152頁 本体1500円

14〜16世紀のネーデルラントにおける君主と都市の競合関係のなかで、都市と市民の多様な世界に「近代市民性」を読み解く。

中国政治

―習近平時代を読み解く

毛里和子著

四六判 128頁 本体1200円

中国共産党国家資本主義のゆくえ、経済格差と社会の変容、腐敗と汚職、膨大な国防費を背景にした軍隊など、巨大国家中国がいま抱える諸問題を、中国政治史の専門家が鋭く解説する。

増補版 良心の興亡

―近代イギリス道徳哲学研究

拓植尚則著 四六判 296頁 本体2500円

「良心」の思想の系譜をたどり、その背景に潜む自己愛、利己心との関係を明らかにし、かつては倫理学の中心だった良心についての議論を通観しながら人間の主体性にも迫る。

蘇我大臣家

―倭王権を支えた雄族

〔日本史リブレット人3〕 佐藤長門 著 本体800円

稲目馬子・蝦夷・入鹿と大臣を世襲した蘇我氏は王権内で生き抜くため、外戚関係を築き、群臣の支持獲得に努めた。蘇我氏盛衰の経緯と要因を探り、彼らの等身大の姿を考える。5月発売

大学の日本史―教養から考える歴史へ

A5判 平均280頁 各本体1800円

高校の日本史をふまえて、1古代 佐藤信編 2中世 五味文彦編

本格的に歴史を学ぶキスト。様々な素材を駆使して時代を探り、どの

ような歴史像をつむぐのか、その醍醐味にふれる。

3近世 杉森哲也編 4近代 小風秀雅編
開国まで。 開国から 高度成長まで。

山川出版社

東京都千代田区内神田1-13-13
電話 03-3293-8131 <http://www.yamakawa.co.jp/>

(表示は税別)

聖徳太子と斑鳩三寺

千田 稔著

2000円

幼少よりの秀でた能力で「和」の貴さを説き、人々の苦悩を救済した聖徳太子。推古女帝を輔佐して仏教の興隆に尽し、後世、太子信仰を生み出した。飛鳥・斑鳩・大坂・京都を訪ねて太子の足跡を辿り、実像を描き出す。

信長軍の合戦史

日本史料研究会監修 渡邊大門編

1800円

桶狭間の戦いから本能寺の変まで、天下布武をかけた戦争を繰り広げた織田信長。信頼性の高い史料を用いて、信長軍の合戦を解説。戦いの経過だけでなく、戦前・戦後の戦略的評価にも目を配り、信長の戦争の本質に迫る。

豊臣水軍興亡史

山下 讓著

2300円

「時代映画」の誕生

岩本憲児著

4500円

大正末期、昭和初期、時代映画は世相を反映し魅力を開花させていく。現実からほど遠い時代映画が、なぜ観客を魅了したのか。代表的作品の脚本や映像を分析し、講談・小説・剣劇との関係を探る。

名著「東北の歴史」の刊行から四八年。

東北のルーツを見つめ直し、新たな北の歴史像を描くシリーズ

東北の古代史



全5巻 ＊ 完結

近年、進展がめざましい東北史の研究成果を背景に、原始から中世までの通史を平易に描く（東北）二大シリーズ古代編。日本列島から北東アジア規模に広がる世界に東北を位置づけ、北の歴史像を提示。各2400円

企画編集委員 熊谷公男・柳原敏昭

モノから見たアイヌ文化史

関根達人著

1900円

アイヌの刀はなぜ切れなくてもよいのか。どうして交易に貨幣を使わなかったのか。平安時代の和鏡から軍服用の米国製金ボタンにいたるモノ資料を取り上げ、文字を持たなかったアイヌ文化の歴史に迫る。

近代日本の就職難物語

町田祐一著 高学歴ながら定職に就いていない「高等遊民」はいかに生み出され、社会はどのように向き合ってきたのか。日本特有の「縁故採用」の実態などの就活戦線を描き、就職事情の歴史に迫る。1700円

大元帥と皇族軍人

小田部雄次著 日露戦後より太平洋戦争終結にいたる、天皇を大元帥とした軍事システムの全盛から崩壊までを描く。天皇と皇族軍人の同調と不和の構図を追い、陸海軍崩壊への過程を追う。1900円

中世京都と祇園祭

華麗な神輿渡御と山鉦巡行で京都に夏の訪れを告げる祇園祭。都市から疫病を退散させる目的で始まり、祭りの形式は全国に先駆けとなった。今日まで千年続く歴史を描く。（読みなおす日本史）

日本古代の交通・交流・情報

鈴野和己・出田和久編 遺跡と技術

三十八年戦争と蝦夷政策の転換

鈴木拓也編 奈良時代の末、東北は本格的な征夷の時代に突入する。三十八年におよぶ戦争は、北上盆地を制圧して終結し、蝦夷と国家との関係は新たな段階を迎える。アテルイとその後の東北を描く。（最終回本）

東北の中世史 全5巻 完結

各2400円



吉川弘文館

〒113-0033 東京都文京区本郷7丁目2番8号 / 表示価格は税別です
電話03-3813-9151(代表) / FAX 03-3812-3544 / 振替00100-5-244
【URL】http://www.yoshikawa-k.co.jp/ 2016年版出版図書目録J送呈

歴史書懇話会

▶会員社名簿◀

- 明石書店 101-0021 千代田区外神田 6-9-5 (担当者: 深谷直樹)
TEL. 03-5818-1171 FAX. 03-5818-1174
- 校倉書房 169-0051 新宿区西早稲田 1-1-3 (担当者: 石田 亘)
TEL. 03-3203-4851 FAX. 03-3203-4854
- 思文閣出版 605-0089 京都市東山区元町 355 (担当者: 中江俊治)
TEL. 075-533-6860 FAX. 075-531-0009
- 東京堂出版 101-0051 千代田区神田神保町 1-17 (担当者: 鈴木 淳)
TEL. 03-3233-3741 FAX. 03-3223-3746
- 刀水書房 101-0065 千代田区西神田 2-4-1 (担当者: 中村文江)
TEL. 03-3261-6190 FAX. 03-3261-2234
- 同成社 102-0072 千代田区飯田橋 4-4-8 (担当者: 榎 祐典)
TEL. 03-3239-1467 FAX. 03-3239-1466
- 塙書房 113-0033 文京区本郷 6-8-16 (担当者: 関口守俊)
TEL. 03-3812-5821 FAX. 03-3811-0617
- 法藏館 600-8153 京都市下京区正面烏丸東入 (担当者: 西村明高)
TEL. 075-343-5656 FAX. 075-371-0458
- ミネルヴァ書房 [本社] 607-8494 京都市山科区日ノ岡堤谷町 1
TEL. 075-581-0296 FAX. 075-581-0589
[東京支社] 101-0052 千代田区神田小川町 2-4-17 大宮第 1 ビル 6F
TEL. 03-3296-1615 FAX. 03-3296-1620 (担当者: 杉田信啓)
- 山川出版社 101-0047 千代田区内神田 1-13-13 (担当者: 菊池敏彦)
TEL. 03-3293-8132 FAX. 03-3292-2994
- 吉川弘文館 113-0033 文京区本郷 7-2-8 (担当者: 春山晃宏)
TEL. 03-3813-9151 FAX. 03-3812-3544

2016年7月1日発行・第226号

発行 **歴史書懇話会**

113-0033 文京区本郷 7-2-8 吉川弘文館内
(非売品)

取扱店